

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 法学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 北京大学 对外汉语教育学院
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 9月 9日 ～ 2020年 6月 12日 出国日 2020年 1月 13日 最終帰国日 2020年1月13（コロナウイルスの影響により）

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

・語学自己評価の変化

留学前：HSK3級

読解のレベルよりもリスニングとスピーキングのレベルが劣っていた。

帰国後：HSK5級相当

語彙が増えた。リスニングはまだ難易度が高いなと感じる部分があるが、話すことに対する抵抗はなくなった。日常会話なら問題ない。

・意識や認識の変化

留学前：英語が通じるだろう。中国人は日本人より怖そう。

留学後：英語はあまり通じない

（通じるのは空港内・銀行・先生・寮の手続きのみという印象）

中国人はすごく親切

（中国語で話すと人が変わったように親切にしてくれることも）

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

- ・当たり前ではあるがもっと語学のレベルを上げられていた方ができることが広がった
- ・旅行等、行きたい場所をもっと考えておけばよかった
- ・中国で必須アプリは事前に調べてすぐ使うべき
- ・空港にWi-Fiがないので（まだSIMカードを買っていない状態にもかかわらず）、携帯をあてにしないで済むように調べておく。または送迎サービスを利用する。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業についても、教授についても一切不満はない。

各授業違う教授が担当してくださるので意見や学習内容が偏る心配はなく、優しく穏やかな方ばかりだった。

どの教授にも wechat かメールでいつでも連絡が可能なので助かった。

授業の印象としては、積極的な発言は必須であると感じた。語学のクラスだったので、ほぼその意欲で成績が変わるといっても過言ではないだろう。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

とても綺麗で広い。

語学の教室は20人が入るくらいの大きさで、特に何の支障もなかった。冷暖房も完備されていた。授業時間外も、他の授業で使用されていなければ空き教室として利用可能。

キャンパスは広く、食堂も複数あり、施設内にコンビニ・銀行・郵便局があって便利。だが、広いが故に移動が大変な場所もあるので、その場合は自転車での移動をおすすめする(とても安くレンタル可能)。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

特に補修講座はない。授業時間前後に先生に少し質問する時間はある。もちろん授業中の質問、wechatで授業時間外に質問することは可能。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

オリエンテーションの期間に、寮敷地内にSIMカードを売りにくる人がいたり、クリニックの人が銀行やクリニックの登録等色々な手続きを手伝ってくれたりする。

留学生向けのイベントは、大学ごとに新入生歓迎会のようなものがある。日本人向けのものもあれば、留学生全体のものもある。場合によっては他大学のものにも参加可能。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地で得られるものはない。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安は非常にいい。バスや電車は、夜中は走っていないので、夜中の移動はタクシーになる。タクシーで身近な人が事件にあったということはなかったが、そこは自己責任だと

思う。大学から3駅ほど先に所謂繁華街があるので、避けたい人は、金曜夜は行かない方が良い。中国人というよりは外国人が多く集まる場所は治安が悪い。

中国では、現金よりも携帯の方が価値があるので、携帯をとられないように注意すべき。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

学ぶ環境として何も不自由がなく恵まれている。

大学内の印刷屋さんで、北京大学のロゴ入り名刺を作ることができるのがおすすめです。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
初級聴力 1	2
初級漢語口語 2	4
初級漢語加速 2	4
Chinese environmental issues	2
中級聴力 1	未申請 (2)
中級口語 1	未申請 (4)
漢語加速 2	未申請 (4)
漢字与漢語詞匯	未申請 (2)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 3000 元、(日本円) 約 48000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (食堂・外食・ケータリング)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 5-10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

寮は綺麗。夏は蚊が多かったので虫よけ、虫刺されの薬は日本から持って行くべき。冬は乾燥するので加湿器をネットで購入、もしくは譲り受けた方が良い。

食堂はとても安く (1食 200 円で足りることもある) おいしいので、毎食食堂で十分 (学内にも数か所、寮敷地内にも 1 か所ある。)

外食も比較的安い。

ケータリングは食堂と比べると高くて無駄遣いした気になるが、冬寒すぎて部屋を出たくない時は頼んでいた。日本のケータリングよりはるかに安い。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0 、(日本円) 約 0 円

※協定校留学のため現地大学の学費免除

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 5 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1875~3125 元 、(日本円) 約 3~5 万円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード
/ 現金 / その他 (現地で銀聯カードを作成し、それを wechat か 支付宝 に繋いで携帯決済、
が主流)

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

携帯決済でないと非常に面倒で、現金だと偽物を渡される可能性があるので気を付けた方が良い。ただし、銀聯カード内のお金は現地でしか引き出せない(日本の支店で中国のカードの対応してくれない)ので一時帰国の際も大金は残さず帰った方が良い。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

日本の口座にお金が入るので、現地では使用しなかったが、月の生活費が3-5万円なので、2.3か月分の生活費にあてる。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動

(2) 保険料

約 10 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

歯科治療、死亡保険込みのタイプ

(4) 感想、良かった点・悪かった点

北京では、留学生は保険に入っていると医療費が全くかからないので絶対に入ったほうが良い。クリニックでの風邪の治療はもちろん、総合病院での検査も無料になる。また、クリニックによってはネイルをただでやってくれるところもあって利用している人が多かった。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

虫よけ、薬、割りばし

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

分厚すぎるダウン（冬でも室内は暑い）

(4) 持って行けば良かったと思う物

サンダル、リセッシュ、スーツ

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

- ・授業→インターン
- ・授業→宿題→友達と遊ぶ
- ・宿題→授業

(2) 週末

- ・ラグビーチームの練習
- ・友達と外出
- ・旅行

8. 後輩へのアドバイス等

授業がない時間を有効活用しましょう！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。